(1)　【日刊】　第158号　(第三種郵便物認可)　磐城日日新聞　(昭和26年1月6日)　昭和26年(1951)2月16日(金曜日)

磐城日日

發行所　磐城日日新聞社
福島縣小名浜町古湊通51番
電話 219番
振替仙臺口座31355番
編集人　高瀬　霞郎
發行人　長瀬　芳一

モノザシ　マース　ハカリ
体温計　小名浜町
寒暖計　資生堂
電話347番

近來稀れな降雪量

關東以北交通ト絶

仙台—藤代間折返し運轉

十四日より十五日朝にかけて猛烈に降つた大雪のため關東以北は交通杜絶の狀態となつたが、東京都の如きは地下鐵の外、國鐵省線、市電共運轉休止となりラッセル（除雪車）が出動し關西は二十年以來の降雪という記錄破りであつた

常磐線は取手—平間の貨物列車は運休、一般旅客車は仙台—藤代（茨城）間は折返し運轉をしており東京からの汽車は一本も常磐線に入つていないが水戸管理局の發表によると目下除雪中だからもなく復舊の見込となお十五日午後十一時の小名浜における降雪量は八、二センチ同じく十五日午前十一時は九、八センチを示している

學藝會開催

小名第一校で

小名浜第一小學校に於いては十六日午前九時より講堂にて學藝會を開催するが一般父兄の參觀を要望している

底曳船主會

船頭の要求討議

去十四日正午より小名濱底曳組合階上にて、同組合船主會を開催、去る七日提出された船頭會の要求事項である分魚の廢止及び水揚金に準ずる酒代支出の件外七件を討議した

旅行會結成

江名機關士會

江名漁船機關士會では舊正七日行つた總會の申合せにより旅行會を結成した、同會は內燃機關に對する智識向上のため、有名工場の見學を目的とするもので月百圓宛を積立て本夏六月頃實施の予定これに對し新潟內燃機製作所江名支店（新江鐵工）では顧客に對する意味で新潟方面旅行の際は宿舍を無料で量供する事を約束し積極的に協力することになつた

小名高希望が大半

小名中進學生徒の實態

小名浜中學校に於ける本年度卒業生は五百三十一名であり、そのうち上級學校へ進學する生徒は現在二百三十三名である、殘る三百名の卒業生について學校當局も既報の如く就職につき積極的に奔走しているが目下七十名位は決定するらしく家業に從事する約百名を除き未決定が百二、三十名あるので十六日午后一時より平職業安定所の職員を招き就職希望兒童の父兄と懇談的に協議する、なお進學生の希望校は次の通り

磐城高校	二八名
磐城女學校	二四名
平工高校	一九名
平商高校	一六名
小名濱高校	一二四名
水産高校	二一名
湯本高校	一名

日程を變更

（十一日既報）モデルPTA會は二月二十日の予定のところ二月廿八日の午前八時に變更

植田中學の校庭擴張

植田中學校は舊菊田女學校の校舍を利用しているので校庭約三百坪に足らず活發な運動に支障を來たしていたが此程植田町議の運動により隣接の畑地二千百坪を買收しグラウンドを兼ねた大校庭を建設する事になり大森組の手により工事進捗中である完成の上は菊田地區各校の綜合グラウンドとして最も適所であり一般より期待されている

議員の横顔 ㉑

平支局 梅野生

木村王國磐石の如し

"花形役者" 木　村　淳　氏

▼第一景——木村外科の第一診察室、純白のシイツに糊の香が漂いストーブがほろホロと快い燃燒音を立てゝいる、ストーブの煙突が直角に走つている對角線の白壁に、川端龍子の逗流と思われる渡邊耕治の靜物バラが、無造作に轉つている林檎の艶々とした光澤と共に明るい感じを放射して、そこはかとなく早春の氣配が感ぜられる、ク月よりの使者〃に見たような看護婦さんが、これはまたタコの頭みたいな、或いは潛水帽みたいなグロテスクな等身大の太陽燈の前に立つていて、「あの御診察ですか」誠に綺麗な聲であるが、まゝよ診察して貰らおうかと思つたが、「ハイ診察もそのうちして戴こうと存じていますが今日は私が先生を御診察致さねばなりませんので」と刺を通じる、看護婦さん、リズミカルなスリッパの音を輕く殘して退場

▼第二景——應接室、玉露を半分呑んだ處に木村先生登場、木村さん往年の夏目漱石に誠に彷彿たるものがあるそれではこの御仁タカヂアスターゼを呑む胃腸病患者かな、と思つたが、血色誠によろしく聽診打診共に異らない、「先生どこか惡いんですか」「いやどうも多忙でね」なるほど多忙には間違いない、待合室には患者が日白押しに詰めかけている上、一步外に出ると、平市民生事業助成會々長さんであるし、隣保館、授產場、千草洋裁學園と關係機關を一巡するだけでも相當の努力、おまけに市會議員という要職があり、社會衞生、保險部門の花形役者である、よろしい記者が處方箋を書いて進ぜようまい、ストーブの煙突が直角に走つている對角線の白壁に、川端龍子の逗流と思われる渡邊耕治の靜物バラが、無造作に轉つている林檎の艶々とした光澤と共に明るい感じを放射して、そこはかとなく早春の氣配が感ぜられる、ク月よりの使者〃に見たような看護婦さんが、これはまたタコの頭みたいな、或いは潛水帽みたいなグロテスクな等身大の太陽燈の前に立つていて、「あの御診察ですか」誠に綺麗な聲であるが、まゝよ診察して貰らおうかと思つたが、「ハイ診察もそのうちして戴こうと存じていますが今日は私が先生を御診察致さねばなりませんので」と刺を通じる、看護婦さん、リズミカルなスリッパの音を輕く殘して退場

▼第二景——應接室、玉露を半分呑んだ處に木村先生登場、木村さん往年の夏目漱石に誠に彷彿たるものがあるそれではこの御仁タカヂアスターゼを呑む胃腸病患者かな、と思つたが、血色誠によろしく聽診打診共に異らない、「先生どこか惡いんですか」「いやどうも多忙でね」なるほど多忙には間違いない、待合室には患者が日白押しに詰めかけている上、一步外に出ると、平市民生事業助成會々長さんであるし、隣保館、授產場、千草洋裁學園と關係機關を一巡するだけでも相當の努力、おまけに市會議員という要職があり、社會衞生、保險部門の花形役者である、よろしい記者が處方箋を書いて進ぜようまい、ストーブの煙突が直角に走つている對角線の白壁に、川端龍子の逗流と思われる渡邊耕治の靜物バラが、無造作に轉つている林檎の艶々とした光澤と共に明るい感じを放射して、そこはかとなく早春の氣配が感ぜられる、ク月よりの使者〃に見たような看護婦さんが、これはまたタコの頭みたいな、或いは潛水帽みたいなグロテスクな等身大の太陽燈の前に立つていて、「あの御診察ですか」誠に綺麗な聲であるが、まゝよ診察して貰らおうかと思つたが、「ハイ診察もそのうちして戴こうと存じていますが今日は私が先生を御診察致さねばなりませんので」と刺を通じる、看護婦さん、リズミカルなスリッパの音を輕く殘して退場

▼第二景——應接室、玉露を半分呑んだ處に木村先生登場、木村さん往年の夏目漱石に誠に彷彿たるものがあるそれではこの御仁タカヂアスターゼを呑む胃腸病患者かな、と思つたが、血色誠によろしく聽診打

水野町長火の慘禍を說く

防犯防火映畫會終る

去る十四日午後六時より小名浜警察署並に小名浜消防團主催、小名濱町役場後援のもとに第一小學校講堂に於て防犯と防火の映畫會を開催したが折柄の悪く正午よりの降雪は夕方より吹雪となつた爲に一般の出足もにぶく百余名が參集して熱心に觀賞した、小柳警部補の開會に始り水野町長より最近に於ける火災の悲慘なる狀況の實例をあげ、防火については町民各位の協力がなければ慘禍より町を救う事は到底出來得ない、災難というものは何時何處から來るかわからないが各人が怠りなく火の元に注意して頂けばある程度は未然に防ぐ事が出來ると訓話し、次いで福島縣消防協會平支部長大河原茂平氏の挨拶があつた

〔續〕性教育の在り方

【問】大人と子供の心理狀態の相違について

【答】幼年時代に犬、ねこ、虫などを愛育する習慣をつけさせ、中學校ではこの幼少時につちかわれた知識を科學的に基礎づけてゆく、この際には大人の關心と子供の關心が違うので子供達が疑問を持ちそうな所をよく心得ておき徹底的に理解させる

【問】少年時代から性病を知らせることの是非は

【答】思春期の子供は敏感ですからみだりに教えない方がよいと思う

強風と吹雪

測候所午前十時發表

昨十四日午前十一時より降り始めた雪は瞬間最大風速二〇、四米の強風にあふられ大吹雪と化し午後三時風雪特報が發令されこのため海上保安部海難救護會では總員出動災害に備え、出漁中の各漁船に霧中警報を吹鳴して警戒にあたつていた處午後六時頃岩手縣所屬第三鯨山丸、小名浜町古港第五福丸等よりSOSの信號があり、これらの救助のため大多忙を極めた、昨朝七時に到りようやく低氣壓は一應通過したが、なお北西の風強く陸上では最大風速十—十五米、海上では十五—二十米の強風特報が發せられた

天氣概況

【本日】北西の風時々やゝ強く、晴天でしよう

【海上】風波が高いですから小型漁船は御注意下さい

湯本高の見學

湯本町高等學校三年生百名は、去十四日、坂本教官に引率され小名浜測候所及び日本水素工場を見學した

キリキリ痛む神經痛の三日療法

今年の冬は樂に過せます

神經痛の病源を一擧に取のぞく新藥モルスカを三日間のむだけで驚くほど輕快し感謝されています

⊙モルスカ　三日分　三〇〇円

ダルマ藥局
小名浜町本町　電話二二二番

一下天醇芳
小名浜町（電6番）
清水屋商店
一義野小

酒はセイセカイ

ユニヴアーサル
インターナショナル映畫
總天然色映畫　16日—18日
＝アラビアンナイト＝

主演
ジョン・ホール
マリア・モンテス
ザブウ
リーフ・エリツクスン
ビリイ・ギルバート
エドガー・バーリアー
リチヤード・レイン
監督　ジョン・ローリンズ

◎驚奇、興奮、妖艶アラビアは千一夜の物語り……ハリウツトの生んだ最美の夢

描かれるのはバグダツトの舞姫シエラザーデをめぐつての腹ちがいの弟とがお家騷動をまき起す異國情緒の豊かな戀と冒險の物語で、豪華なセツトの中に甘美な音樂と色彩にいろどられながらエロテイシズムとスリルとが展開する、色彩は特に砂漠の場面が非常に美しい傑作映畫である

磐城座

二月十七日(土曜日)午前九時半
小名浜第一小學校講堂
小名浜高等學校
校歌發表演奏會
贊助出演　小名浜町各小、中學校
福島縣立小名浜高等學校
一般來聽を乞ふ(入場無料)

第三種郵便物認可　昭和26年(1951)2月16日（金曜日）　磐城日日新聞　新聞定価一ヶ月50圓 一部賣2圓（月曜休刊）　第158号　(2)

平競輪悲觀の要なし
石山副委員長太こ判

市民の賛否兩論をめぐりている平競輪は兎も角も第一回の幕を閉じたが、强引といわれた鈴木市政に果して白星が輝くか、反對者側の憶測が單なる杞憂に過ぎなかつたか玆に第一回業績の跡を檢討してみよう

先づ車券の總賣上高をみるに第一回は百八十一万四千五百円、第二回二百一万四千五百円、最終日二百九十八万四千三百円、總計八百六十九万三百円という數字を上廻つており絶体に悲觀する必要はないと思う、寒波襲来期中の開催と一般ファンか不馴れのため上成績とは言へなかつたが、全國的な統計がものを言つているので二回、三回と上昇するのは火を見るより明かであるその点大いに期待してよいと確信していると自信のほどをほのめかした

第三太陽丸沈沒
乘組員は行方不明

小名浜町古港、野崎美世治氏所有第五福丸（二九屯）底曳船は風雪のため視界全く利かず方向を誤り日本水素工場南方の砂浜に座礁、SOSを發し中ノ作、吉田喜好氏所有第三太陽丸（四四屯）は昨十五日午前十時頃双葉郡井出前二十哩の沖合にてスクリューに網が巻き付き航行不能となり折柄の風浪のために侵水して船舶は四五度に傾斜し沈沒寸前の狀態にある旨無電連絡あり小名浜海上保安部巡視船うづらが直ちに出動救助に向つたが既に沈沒乘組員十四名は行方不明となり目下捜査中

爆彈引揚再開？
業者代表當局に陳情

爆彈引揚業者中外金屬代表社員片岡弓八氏外全國より參集した有志三十名は去る十二日運輸省海上保安廳に出向、爆彈引揚業務再開の陳情書を提出し柳澤次長航路啓開本部田村本部長、政務課長らと共に懇談会を開催過去の引揚業務の引揚禁止による從業員五万名の生活危機の問題等に就き協議の結果、柳澤次長より一週間前後には再開の運びに到る樣努力するとの回答があつた模樣である、本件に就いては當局にて爆藥の海上處理と陸上處理の根本的な見解の相違があるため遲延しているものの如くである、業者間では輸送、解体作業共に絶對他に影響しない法途を講じて施設の完備した陸上處理を望んでいる

坐礁頻々

一昨十四日午後六時、岩手縣大槌町、川口鶴松氏所有第三鯨山丸は（七六屯）は那珂港より女川へ廻航中風雪のため方向を誤り下神白綱取三崎沖にて座礁直ちに小名浜港より待機中の縣指導船共盛丸が救助に向つた所同十一時自力にて離礁し救助船に護られ小名浜に入港した

揚水ポンプ引渡し完了

小名浜町水道部ではかねて日立設備株式会社と契約した揚水ポンプ（四〇馬力、二、一立方米）を取付け中であつたがこの程工事完成したので十五日午前十時より水野町長木村、林、佐藤（貞）の各議員に中里水道課長、矢内主事等淨水場現場に至り納入者立會の上試運轉をなし引渡をうけたが小名浜町水道部ではかねて日立設備株式会社と契約した揚水ポンプ（四〇馬力、二、一立方米）を取付け中であつたがこの程工事完成したので十五日午前十時より水野町長木村、林、佐藤（貞）の各議員に中里水道課長、矢内主事等淨水場現場に至り納入者立會の上試運轉をなし引渡をうけたが

平市警察署の不良狩り

結果は良好であつた

平市警察署では十三日夜街の不良狩りを行い市内柳町土工宍戸幸雄（二一）を傷害容疑で、又平市舊城跡新妻富好（二一）を住居不法侵入容疑でそれぞれ檢擧したが新妻は十三日夜酒を飲み二回に亘つて南町無職芹澤正忠（五一）さん方に侵入家財道具をたたきこわした疑いきた宍戸は去る七日夜、平市公会堂で笠置シヅ子一行を觀覽中好間村北好間賣炭業富澤關治君（一九）に對し些細なことから顔面を毆打、さらに短刀で左頬に全治二週間の傷害を負わせたもの、尚新妻、宍戸兩名とも執行猶豫中であつた

棚ざらい賣出し
平商店街ストック整理

平市内商店街では早くも冷物衣類の棚ざらい賣出しを始めて宣傳にのり出している、これは新舊お正月を目当てに入荷されたストックの整理を意味するものでチト早過ぎる手廻しにはたして飛びつくかどうか玆にも商店界の金づまりが窺れるもので、ドつさり仕入れた暮の商品を手放し銀行筋の整理をしなくては金利の下敷きにもなりかねないので換金策から眞多と云うのに特賣を思い付いたのこの賣出し宣傳を知つたお客筋では朝鮮戰亂から衣類が天井知らずに値上りをするものと思つていたが、或はこの邊で落ちつくものと思つている向きもある

防火協議會

來る二月十七日植田地區署管内三町七ヶ村の消防團長は植田地區署會議室に於て防火協議會を開催する

小說 雲遙かなり (34)
伊納川銀

神と悪魔 二

「高松さんでしようか。」
「はあ。」
「實は岩磐時報の芳川という者ですが、お聞きしたい事がありましてね。お宅に行つたらこちらだという事で、急いでるもんですから、後を慕つて參つたというわけですよ。」
「何か？。」
「それについて、編集次長から手紙を持つて來ておりますから、讀んで下さつてですね。それから一つ。」
芳川はそういつて尾形からの手紙をとり出した記者らしくスピーデーなペン字で特徴のある字体が優治の目にとびこんだ嫌な予感というか、優治は佛の前で開封したくなかつた。
「ちよつと待つて下さい今臺參をすましてしまいますから。」
「どうぞ。」
芳川は髪をかきあげるようにして、歩み去りながら、ポケットから煙草のケースを取り出した。
優治と三池子は、無量の思いはともすればかき乱され勝ながら、それでも心からの祈念を終つた、「高浜君久濶である。秀平君の事御同情にたえない。あれ程仲の良かつた兄弟二人。君の心中がしのばれて哀傷の念ひとしお深い。さて、早速だが、最近君の事に關して非常に聞きこみが多い。手つ取り早くいうと、君は貸家を澤山持つているその借家人に對して法外もない家賃をそれとなく要求し、應じなければ出て行けがしに扱うばかりでなく君の政治勢力扶殖にも借家人を利用し、最近ではみそしようゆの登錄にも強引に借家人へ强制しているというのだ。中學時代あんなに純情だつた君の事だ。僕は絶對に信じたくない。明らかに中傷だと思うけれど一應君の意見を聞きたい。尚、青年運動というか文化運動というか青年層の自己確立を目指して僕達は彼等の自主的活動を勸奬して來たのだが、その運動に對して君がはなはだしく非協力的、むしろ嘲笑的でさえあるというので一部に大きな反感もあるようだ。そんな事からの感情問題もからんでいるのではないかとも思われる。とに角一度逢いたい。たづねるのが本當だが一寸離れられないので遊びがてら社の方に來てくれないか。もし多忙だつたら芳川君に一應意見だけ聞かしてよこしてくれ。たのむ。」
優治の眉がぴり〳〵上がつた。何物へとも知れぬ怒りであつた。といつて全然そんなことはないと言い切れる自信はなかつた。指摘されて見ると思い当る事も多かつた。
「君。俺が直接尾形君に逢つて話をする。今日午後たづねるからとそういつてくれないか。その前にちよつと家に寄つてくれ。尾形君に屆ける物があるから。」
「よし割り切つてしまえ。」
優治は瞬間的に考えたふつと神と悪魔という事が想念の底をかすめた。

魚菜市況 15日

【小名浜中央青果市場】
大根　五〇圓
油な　六〃
ほーれん草　一一〇―一三〇〃
吹雪のため出荷五〇貫、相馬は前日の倍額を示す
【小名浜魚市場】
大なめた　三七〇―三八〇圓
たこ　一七〇―二〇〇〃
はも　四六〇―六〇〇〃
えび　一、〇〇〇―一、二〇〇〃
平目　一、〇五〇〃

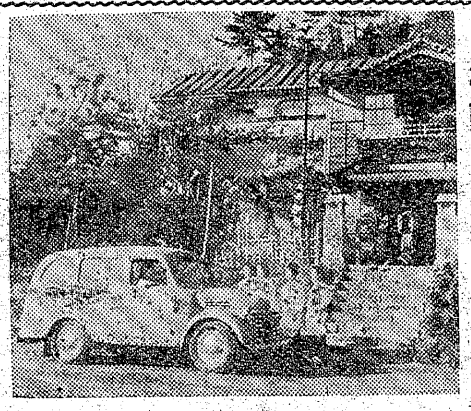
強くて丈夫で経済的で履き良い
ゴム靴ゴム合羽
三馬弘進　印ゴム代理店
タヌキ
小島ゴム店
小名浜町本町（電三四〇）

開店お知らせ
二月一日ヨリ昔馴染ノ長瀬肉店ガ再ビ牛豚鳥肉ノ販賣ヲ初メマシタ昔ニ變ラズ御引立ヲ願イマス
牛豚鳥肉　長瀬食肉店
須賀町水素前通リ　電話十二番

絶對信用ノ出來ル本場自慢ノ霜降リ牛肉
ヲ一度御試食下サイ

三輪車は
オリエント
（月賦販賣の御相談に應じます）
小名浜町本町
壽商會
秋元且吉
電三〇九番

印刷の御用命は
ぜし當社へ
株式會社　長瀬印刷所


大小宴會は小瀧で!!
お電話ですぐお迎えに參ります
御旅館　小瀧　福島縣小名浜港
電話103番

酒　清等優
小名浜町林城　電話199番
醸造元　齋藤晃商店
味噌醤油
大黒屋号
小名浜町住吉
電話三二七番
〝糀（こうじ）〟
委托製造
開始いたしました
是非御利用の程を

醫療法人　富ケ浦病院
院長　安田善一
副院長　佐藤正
小名浜町中坪
電話三三番